

ふかまちのまど

第九一〇号 一〇年四月一日
発行元 深町町内会連合会
連絡先 六三三三八二

深小だより

『学校経営と組織管理』

深小学校長 山本 恵司

今年度は、十六名の新入児を迎え、全校児童八十八名で、四月六日（火）より、平成二十二年もまた、深の子どもたちの「確かな学力」と「豊かな感性」を育てる学校経営を推進していきたく思います。

『司馬法』とは、古代中国の兵法書ですが、兵法書には将の心得を論じたものが少なくありません。

例えば、「上、煩なれば軽く、将がセカセカしている軍隊は弱く、大将がゆとりをもっている軍隊は強い」という意味ですが、組織のメンバーは常にリーダーの顔を見ても共通していることだと思っています。

ところで、『孫子』（九変編）は、「将の五危」をあげ、将には陥り易い次のような五つの危険があると言っています。

第一に、必至になりすぎるの危険は、客観的な情勢がわからなくなり、無駄な死を招くことになり、第二が、逆に命を惜しむのも臆病風に吹かれて捕虜となってしまう。

第三に、短気を起こすのは危険がある。敵の挑発に乗せられる怖れがある。

第四に、潔癖すぎるのは危険な。名誉を重んじるあまり、みすみす敵の術中に陥ってしまう。そして第五に、思いやりが強すぎるのは危険。部下を思いやるあまり、作戦をためらうことがある。

学校は、戦うところではありませぬから、「軍隊」とか「敵」とか「死」という言葉は適切ではないかも知れませんが、「将」として、学校経営に携わる校長として、常に肝に銘じておきたい言葉だと思っております。本年度もどうぞよろしくお願いたします。

深町子どもを守る会

子どもを みんなで守りましょう



午後四時二十分頃 下校します。

※日によって、異なることがあります。

○近くで、遠くで、みんなで見守りましょう。
○あいさつ、声かけをしましょう。

歩く会にご参加を

健康づくり推進員 高崎修

佐木島 一周



月日 四月五日（月）

行程

- 八時半 上組公民館出発（車）
- 九時二五分 佐木行きフェリー乗船
- 十時 周遊出発（車）
- 千本桜・向田地蔵等
- 十四時五分 三原行きフェリー乗船
- 十五時頃 深町帰着予定
- 弁当・飲物・フェリー代
- （一、五〇〇円位）持参下さい。

子ども会だより

子ども会会長 松本雅志



三月十四日に六年生を送る会を行いました。

卒業していく六年生、優しく接してもらった在校生共に、ドッジボールや自由遊びで楽しいひと時を過ごしました。

そのあと六年生から、中学校へ行ってしまう。皆、頑張ってきた長けていた下さ。皆、頑張ってきた。昼食にお母さん方に作っていただいたカレーライスをみんなが食べた。六年生には楽しい小学校生活の思い出が出来たと思います。

町内の皆様、地域の皆様、巣立っていく子ども達を今後とも温かく見守って下さい。

ゴミ処理券ご提供のお願い

さて、今年度もゴミ処理券を集めさせていただきます。子ども会運営にあたり一枚でも多く集めたので、皆様のご協力よろしくお願いたします。

この一年間皆様のご協力、ご支援をいただき無事に終えることを感謝しております。有り難うございました。今後とも深町子ども会をよろしくお願いたします。

「ふかまちのまど」 ホームページのアドレスは
<http://www.jcat.ne.jp/~fuka/top.html>

森とともに生きる②

中組 安藤 志保

森は私たちの暮らしを支えている。木材、紙、薪、炭、などの資源は、木からとられる。木は成長すると、炭素を吸収して酸素を放出する。地球温暖化を防ぐためには、森林を大切にすることが重要である。

しかし、森林は減少している。伐採された土地は、適切に管理されないと、土壌が流失し、水質が悪化する。また、生物多様性も失われる。

私たちは、森林を大切にし、持続可能な形で利用していく必要がある。森林保護活動に参加し、自然を守り、共に生きる。



森林伐採された土地（アマゾン森林保護植林協会運営の農場）で植林しました

森を守るためには、まず森林破壊の原因を知ることが大切である。森林破壊の原因は、過度な伐採、農地の拡大、都市開発などがある。

私たちは、森林を大切にし、持続可能な形で利用していく必要がある。森林保護活動に参加し、自然を守り、共に生きる。

短歌・俳句・詩

中組 仲峠講 竹内ひろみつ

われよりも若きに逝くは悲しやな

計報を聞きてただ合掌す

首を振り駄々を捏ね居た先生も

鶴の一声離党届けを

可愛らしチューリップ一鉢贈られて

黄昏る身にも春来たること

深町各種団体四月行事予定

- ◆町内会連合会
 - ▼定期総会 十一日
- ◆上・中・下組各町内会
 - ▼定期総会 四日
- ◆小学校・幼稚園
 - ▼就任式・始業式 六日
 - ▼入学式 七日
 - ▼離任式 八日
 - ▼学区児童会・入園式 十二日
- ◆標準学力検査 十三日
- ◆参観日・PTA総会 十七日
- ◆全国学力調査 二十日
- ◆クラブ活動 二十一日
- ◆家庭訪問 二二～二三
- ◆読書の日読み語りの会 二三日
- ◆眼科検診 二七日
- ◆春の遠足 二八日
- ◆如水館中学・高校
 - ▼中・高始業式 六日
 - ▼中・高入学式 八日
 - ▼中学一年合宿十五～十七日
 - ▼高校一年合宿十八～十九日
 - ▼中学授業参観日 二三日

展望席

タケノコがニョキニョキと頭を出してくる頃となりました。タケノコは漢字で書くくと「筍」。竹が地面に頭を出してから旬（十日間）の内がタケノコであるということ。タケノコは春の代表的な味覚の一つです。近頃は、旬の最も美味しい頃をイノシシ様が先にお召し上がりになり、人様の口に入りにくくなってきました。

竹は「たけたけしい」という言葉が語源だと言われ、タケノコは親竹を追い越す勢いで生長してきます（竹の子の親まさり）。生長が早いタケノコは一カ月もすると固い竹となり食べることが出来なくなります。やがて生長した竹の節目から枝が出てきます。節目というものは、人の成長の過程でも大事な意味を持つていておもしろいです。

「六十年に一花あり、花の実を結べば竹則ち枯る」（明代の薬学書「本草綱目」ほんぞうこうもく）竹の花はめつたに見ることがありませんが、竹は六十年に一度花が咲き、大きな節目を迎えることになるが、竹の花が咲くとその竹は枯れ、生き残った一部の地下茎からまた新しく回復竹という竹が伸びてくるとか。

人間も六十年は還暦であり、人生の最も大きな節目かと思えます。四月は新入生、新入社員、新しく学問の道に進む人、新しく社会人になる人、退職して第二の人生を歩む人等、新たな出発の月でもあります。四月はあの意味人生の節目であり、この節目を大事にして更なる成長をしたいと思います。

「勤務先での思い出」②

中組南峠 岡村 満雄

診療所を出た私は二、三の同僚と、このエレベーターに乗った後、ドアが閉まらないように開閉ボタンを押しつつづける人がおり、「どなたが乗ってこられるのかな」と思っているところへ乗ってこられた人がなんと田中大臣で、驚いて頭を下げると「やア」と声を掛けると、閉まったドアの方に振り返られ、大臣室のある二階につくや随行者とともに降りて行かれた。

※前月号の後段を再掲



出来事はこれだけのことで、と言えば、皆さんは「なんだ」と思いでしょうが、私にとって四十数年経ったいまでもこのことが忘れられず、はっきりと記憶に残っています。

実はそのようなことではなく私がお話したいのは、この出来事が田中角栄大臣の庶民的な人柄というか、その一面を窺わせる出来事だったということです。

と申しますのは、通常、大臣の登庁時は事前に担当部署と連絡があり、その時間になれば秘書官などがエレベーター前に待機しており、私たち一般の職員にたいしては「ただ今大臣がお見えになるのでエレベーターの利用はご遠慮下さい」と、この中央エレベーターは利用させてもらえず、階段か他のエレベーターを利用させられていたのが通例だったのです。

が、田中大臣のときは他の大臣とは違っていた訳で、後になつて思うに、そのことが担当部署をはじめ秘書官にも言い含めておられたのではなからうかと思われ、のちのち総理大臣になられ、いろいろ噂の多い人でしたが、田中角栄という人は、このように私たち一般職員と区別なくエレベーターに同乗されるような、庶民的な一面をもつておられた大蔵大臣だったということが、私の思い出話です。

(完) ▲▲

介護予防教室 「認知症はどんな病気」

二月二四日(水)、深町町民会館において、サンライズ大池主催による介護予防教室が開催されました。

この教室で学んだことの一部を紹介させていただきます。

(編集室・紙谷謹二)



◆認知症とは

脳が病気により、働きが悪くなった為に、様々な障害が起こり、生活する上で、支障が出ている状態。

- アルツハイマー型認知症
- 脳血管性認知症

◆アルツハイマー型認知症と脳血管性認知症の特徴

- アルツハイマー型認知症
 - 【特徴】
 - ・発症当初は、身体的な障害はほとんどない
 - ・全体的に脳の能力低下
 - ・ゆっくりと確実に進行
- 脳血管性認知症
 - 【特徴】
 - ・麻痺や言葉の障害も伴う
 - ・部分的な脳の能力低下
 - ・発作を起こす度に進行

◆認知症の診断・治療について

- 早期の受診・診断・治療が重要
- 全体の約一割が治療可能な認知症

『家族が最初に気づいた認知症症状』

- ・同じ事を何回も言ったり、聞いたりする
- ・物の名前が出てこなくなつた
- ・置き忘れやしまい忘れが目立つ
- ・以前はあった興味や関心が無くなった
- ・日課をしなくなつた
- ・だらしなくなつた
- ・財布を盗まれたという些細な事で怒りっぽくなつた

病院受診・検査 (CT・MRI等)

◆認知症の発症予防について

○脳血管性認知症の予防チェック

- ・高血圧ではありませんか
- ・血糖が高くありませんか
- ・不整脈が出る事はありませんか
- ・タバコを吸っていませんか
- ・アルコールを飲みすぎていませんか
- ・コレステロールが高くありませんか
- ・食事の塩分・脂肪を摂りすぎていませんか
- ・継続して、運動をしていますか
- ・太りすぎていませんか

○認知症にならない為の七つの生活習慣

- ・散歩をする
- ・新聞を声に出して読む
- ・料理を作る
- ・社会と交わる
- ・電車・バスで出かける
- ・日記をつける
- ・恋をする

◆地域の方へのお願い

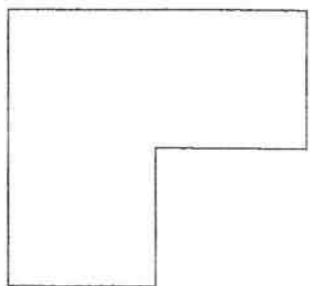
- 認知症の介護家族には、
- 「なにかお手伝いすることがありますか」と一声かけて
- 「大変ですね。お互いさまですから、お気遣いなく」といったねぎらいの一言を
- 余裕があれば、日々の付き合いに応じて家族不在時の見守りを担う

四角形のピザパイ

ここに左記のような形のピザパイがあります。もともとは正方形のピザパイだったので、一人が四分の一を先に食べてしまったのです。

これから、今いる四人で食べたいのですが、正確に四等分したいのです。そのために、全く同じ形に切りたいのです。どのように切ればよいか考えてください。

※答は次号に載せます。



認知症チェックテスト



- 一、自分の年齢は? (答えられたら一点)
- 二、今日の年月日と曜日 (答えられたら各一点)
- 三、今いる場所は? (答えられたら二点)
- 四、三つの言葉の復唱 「さくら、ねこ、電車」 (各一点)
- 五、計算をしてください 100-7=?
- 六、数字を逆からいって下さい 93-7=?
- 七、四番の三つの言葉を言って見て下さい (覚えていたら各二点)
- 八、五つの品物を覚える 「えんぴつ、かぎ、歯ブラシ、時計、スプーン」(各一点)
- 九、野菜の名前を出せるだけ言う 一五秒間で五種類以上言えたら (五点)

右記の点数を合計して、

- 二〇点以上・・・ただのもの忘れ(正常)
- 一九-一六点・・・軽度の認知症疑い
- 一五-一一点・・・中度の認知症疑い
- 一〇点以下・・・重度の認知症疑い

ピッコロだより (知的障害者授産施設)

野菜苗がいっぱい



ピッコロも新年度を迎え、心あたらに又、一年の始まりです。今春は野菜苗の注文が入り、ハウスの中は殆んど、野菜という状態です。花苗は、ほちほち仕上がりつつあると思います。「ピッコロの苗は元気がいい。」とか「苗が丈夫」とか、沢山人から、お声をかけていただいています。これからもそのお声に裏切る事のない様に利用者と共に苗作りに専念していきます。野菜苗、花苗、ご希望の商品があれば、どんどん、おっしゃって下さい。鉢物等は皆実町のピッコロガーデンで展示即売をしています。市内に來られた際にはお立ち寄り下さい。

▲▲